

令和3年11月5日

## ストップ！踏切事故！

～冬の踏切事故防止キャンペーンを実施します～

北海道内の踏切事故は冬期に集中

過去5年間の踏切事故18件中、12件（67%）が冬期間（12月～3月）に発生

【近年の踏切事故件数 平成30年度3件、令和元年度4件、令和2年度3件】

本格的な冬を前に全道各地で

「冬の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

### ○実施概要

- ・実施時期 11月13日（土）～22日（月）
- ・実施主体 踏切事故防止運動推進協議会（添付資料1）
- ・実施内容 列車内放送による啓発、駅及び構内でのポスターの掲示等

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不特定多数の方と接触する駅構内・踏切等での啓発活動は中止します。



<問い合わせ先>

国土交通省北海道運輸局鉄道部

安全指導課 小川、齋藤

Tel. 011-290-2732

## 冬の踏切事故防止キャンペーンについて

北海道における踏切事故は、冬期に多発する傾向があり、踏切手前での一旦停止を確実に励行するとともに、路面状況に応じた自動車の安全運転が求められています。

平成22年1月には深川市の踏切で、特急列車に大型ダンプカーが衝突し列車が脱線する踏切事故が発生し、列車の乗客・乗員など45名もの重軽傷者を発生させ、この事故により函館線が不通となり、道民生活に多大な影響を及ぼす大惨事となりました。

北海道運輸局では、平成5年度から「踏切事故防止キャンペーン」を重点施策として位置付け、鉄道事業者及び自動車関係団体等による「踏切事故防止運動推進協議会」を設立して踏切事故防止運動を実施しています。

今年度も、冬の交通安全運動期間中の11月13日から22日までの10日間、列車内の放送及び列車・駅等にポスターを掲示するなどにより啓発活動を行います。

### 〔 踏切事故防止運動推進協議会構成員 〕

北海道	北海道警察
北海道旅客鉄道(株)	日本貨物鉄道(株)北海道支社
道南いさりび鉄道(株)	(一社)北海道バス協会
(一社)北海道ハイヤー協会	(公社)北海道トラック協会
北海道自家用自動車協会連合会	国土交通省北海道運輸局

- ・踏切の手前では一旦停止し、列車が来ないことと前方に自分の車のスペースがあることを確認してから通過しましょう。
- ・警報機が鳴り出したら、絶対に踏切に入らない。
- ・もしも、通過中に遮断ポールが下がっても、あせらずに車で遮断ポールを押して脱出しましょう。
- ・もしも、踏切内で動けない状態になったら、ただちに非常ボタンを押してください。  
(非常ボタンがない場合は、列車に向かって車に備えられた発炎筒で合図をしてください)